

記者懇談会の記録

日 時 令和2年8月4日（火）15：30～16：44

場 所 水道庁舎4階 会議室

出席者 市長、飯川副市長、鈴木副市長、総務部長、企画財政部長、経済部長、財政課長、報道
7人

令和2年第2回臨時会補正予算（新型コロナウイルス感染症に関する緊急経済対策第4弾など）

の概要について

（市長）

8月11日に令和2年第2回臨時会が開催されます。そのときに提案する補正予算の内容ですが、新型コロナウイルス感染症に関する「岩見沢市の緊急経済対策第4弾」として取りまとめましたので、ご報告させていただきます。

今回の補正予算は、国の第2次補正予算を活用し、「事業継続や雇用維持等への対応」、「医療提供体制の強化」、さらに「新しい生活様式等への対応」として、従来の感染症拡大防止に加え、「新たな暮らしのスタイルの確立」や「新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進」などに向けた取り組みを「緊急経済対策第4弾」として実施するものです。

今回の補正予算の規模でございますが、一般会計で約9億2,000万円、病院事業会計で5億7,000万円、合わせて約14億9,000万円となっています。

まず、一般会計では、第4弾関連予算の約8億8,000万円とその他の事業の約4,000万円を計上しています。第4弾関連予算につきましては、地方創生臨時交付金の第2次配分額である約12億3,000万円のうち、約8億3,000万円を活用するほか、北海道の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金などを財源として実施する予定です。

次に、主な事業をピックアップし、ご説明します。

まず、大項目のⅠ「事業継続や雇用維持等への対応」として、約1億8,000万円を計上しています。

学生・農業短期就労支援事業は、北海道教育大学岩見沢校とJAいわみざわの協力の下に、アルバイト先が減少している大学生と働き手を確保したい農家をコーディネートするとともに、就労場所への移動のためのタクシー代を支援するものです。

医療従事者養成学校支援事業は、駒澤看護専門学校及び医師会附属看護高等専修学校に対し、生徒1人当たり2万円を支援するものです。

小規模事業者等サポート給付金事業は、対象を拡充し、従来の小規模事業者に加え、中小企業者、介護・福祉サービス事業者、一般社団法人などを追加しました。また、特別加算の対象も拡充し、病院・歯科医院、市場卸売業者、大規模宴会場を持つ事業者を追加しました。

次は、保育事業等従事者慰労金交付事業です。すでに医療従事者や介護・障害者施設などに従事されている方への慰労金は、北海道の医療従事者等慰労金支給事業の中で制度化されています

が、同様に休みなくお仕事をされた、保育園や放課後児童クラブなどの児童福祉施設に従事される方に 1 人当たり 5 万円の慰労金を支給するものです。

新生児特別定額給付金事業は、国の特別定額給付金の基準日である 4 月 27 日の翌日から令和 3 年 4 月 1 日までに生まれた新生児 1 人につき 10 万円を支給するものです。

教育大学学生臨時支援事業は、仕送りやアルバイト収入の減少などにより学業の継続をおびやかされている北海道教育大学岩見沢校の学生に対して 1 人当たり 5 万円を支給するものです。

就学援助事業は、小中学校の臨時休業などへの対応として、就学援助世帯に対し、モバイルルーターの通信料および休業期間の給食費相当分を支給するものです。

続きまして、大項目のⅡ「新しい生活様式等への対応」として、約 7 億円を計上しています。

感染症予防事業は、保健センターや「あそびの広場」で、それぞれの利用者がよく触れる場所に抗菌・抗ウイルスコーティングを施すものです。

学校施設感染症予防対策事業は、学校のトイレの洋式化、保健室の空調設備の整備を進めるものです。

新しい生活様式対応事業者支援事業は、感染防止対策、デリバリー、テイクアウト事業の推進、テレワーク事業の推進などを事業費 10 万円以上で実施した中小企業者や小規模事業者などに対し、10 万円を限度に支援するものです。

GIGA スクール環境整備事業は、オンライン授業などに活用するため、多機能電子ホワイトボードを搭載したウェブ会議システム用設備を各校 1 台導入するものです。

タクシー等宅配支援事業は、タクシー事業者などによる飲食物などのデリバリーに対して、配達料の一部を補助するものです。

プレミアム商品券事業は、11 月から使用できるプレミアム率 30 パーセントの商品券を発行します。9 月から 11 月まで使用できる地元応援クーポン券に続き、切れ目なく市内の需要喚起策を実施することで、地域経済の活性化や底支えを促します。

観光誘客促進事業は、感染症の影響により減少した観光入込客数などを回復させるため、宿泊代金の 2 分の 1、上限 3,000 円の補助、および、ワインタクシーの利用料金に対し、1 台当たり 5,000 円を補助します。

続きまして、病院事業会計の補正予算では、発熱外来の設置、医療体制強化に係る設備整備として約 3 億 7,000 万円、医療従事者等への慰労金として 2 億円を計上し、北海道の緊急包括支援事業を活用します。これに加え、高等看護学院のオンライン授業環境の整備、感染予防対策用備品などを見込み、総額で 5 億 7 千万円の事業を計上しました。

以上が、緊急経済対策第 4 弾として 8 月 11 日の臨時会に提案する補正予算の概要です。

社会経済活動の活発化により、市内消費の回復や観光需要の回復が期待されているところですが、人々が動き始めることによって再び感染のリスクが高まることも懸念されます。今後は、新北海道スタイルを着実に実践し、感染リスクの低減と地域経済の活性化の両輪で、次の段階へ進んでいくことが重要であると考えています。

なお、地方創生臨時交付金は、2次配分額 約12億3,000万円のうち今回の第4弾に約8億3,000万円を充てたわけですが、残りの約4億円は、交付金の制度趣旨でもある「新しい生活様式等への対応」に積極的に取り組んでいく中での活用を模索していきたいと考えています。